

# 計器用変圧器の JCSS 校正

JCSS校正証明書は、IATF 16949、UL規格及び各種安全規格に対応できます。  
校正結果は、ILAC/APACのMRA（相互承認取決）を通じて、国際的に受け入れられます。

## ■ 対象測定器

高電圧から低電圧までを、安全に、精度良く測定することは大変な作業です。  
このため、高電圧の測定は、計器用変圧器（VT）を用いて取り扱いが容易な電圧  
に変換（変成）し、計器との組み合わせで測定する方法で用いられます。

VTは、絶縁が優れていること、  
変成比が正確であることが重要です。



## ■ 主な定格

定格一次電圧	275/√3 kV ~ 110 V
定格二次電圧	27.5V、110 V、100 V、110/√3 V

## ■ 校正範囲及び校正の不確かさ

校正条件	電圧（定格一次電圧）	拡張不確かさ (信頼の水準約95%)
周波数 50 Hz、60 Hz 二次負担 50 VA ~ 0 VA 二次負担力率 1	定格一次電圧の120% 以下 5% 以上 ただし、275/√3 kV 超過の場合は 定格一次電圧の110% 以下 5% 以上 また、電圧の上限は150 kV	比誤差 0.01 % 位相角 0.4 分

校正の不確かさは、校正範囲で一番小さなものを記載しています。

## ■ 校正のご利用方法

